

もう師走、早いものです。

今年も残すところあと僅かとなり、時の経つのが早いと感じられる時季となってまいりましたが、年末に向けて人々が忙しく活動している姿を頻りに目にするようになってまいりました。

例年のごとく、今年を振り返ってみますと、五月一日には平成から令和へと改元され、令和天皇が即位され、新たな年がスタートしております。十月には各国要人をお呼びして即位を宣言された式典が催され祝賀ムードが盛り上がりました。一方で天災による被害が今年も発生し、台風15号、19号の襲来により各地に甚大な被害をもたらしたことは、記憶に新しいことではないかと思っております。その他には、高齢者ドライバーによる事故の多発、韓国の徴用工判決に端を発した日韓関係の悪化などがありました。また十月より消費税が10%に引き上げられました。大きな混乱もなくようやく落ち着いてきたように見受けられます。他方ではうれしいことに、今年夏の参議院選挙で日本薬剤師連盟からの推薦で立候補された本田あきこ氏が見事当選され、参議院では薬剤師議員が私と二人になりました。ともに協力し、よい良い社会保障体制構築に邁進します。更に今年もノーベル賞を吉野彰氏が受賞されました。化学賞受賞の吉野氏はリチウム電池を開発しましたが、これにより情報化社会を支え、地球温暖化の解決にもつながる成果として高く評価され、私たちの生活に革命をもたらし、人類に偉大な貢献をしたとたたえられての受賞となっております。

また4年に一度のワールドカップラグビーが初めて日本で開催され、史上初となるベストエイトまで勝ち進み大きな盛り上がりとなりました。来年は2020オリンピック・パラリンピック東京大会が開催され更なる盛り上がりがあるのではないかと思われ、日本選手の活躍を大いに期待しております。

この一年多くの皆様から心温まるご支援をいただき、医療・福祉・介護などの社会保障制度の充実や、科学技術の推進、医薬品・医療機器等の関連作業の発展や、麻薬・覚せい剤などの薬物対策について努力を重ねてまいりましたが、来年も今年同様変わらず全力で取り組む所存です。どうぞこれからも引き続き、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

参議院議員 藤井基之

「浜町標本」もとゆき会会員 大野雅久

日本橋浜町二丁目35番に「もとゆきかわら版」の発行所がある。その近く37番地でナウマンソウの化石が発掘されたことはマイナーな話かもしれない。

このナウマンソウは、地質学会の学術用語として発掘された場所から「浜町標本」と呼ばれている。日本橋浜町二丁目37番、もとゆき会と2番違いの近似なには驚いた。久松警察署の前、金座通りを隅田川方向へ行くとすぐに大きな一方通行に出る。その交差点の直下を都営新宿線が掠めて走っている。江戸の頃、久松警察署の対面あたりに「金座」が置かれ貨幣が製造されたと言語継がれてきたが論拠に乏しい。よっぽどナウマンソウの化石の方が確たるモノであろう。

浜町と次の馬喰町の駅間は350メートルで手が届きそうな距離だ。最短クラスなのは地元の強い要望で開設された駅だからだ。ナウマンソウの発掘場所は浜町駅ホームの北詰地点という。以前から浜町駅のホームが思いのほか長いのを不思議に思っていたが合点がいった。階段裏手、暗く薄っすらな空洞がそれらしい雰囲気を感じている。一方深さは22mらしい。隅田川や都営浅草線の下を走るから、そこそこ深めである。掘削作業は昭和五十一年に行われた。化石が現場事務所（貸室）に運び込まれた際、当時の勤務先（鳥居薬品）に呼び出しがかかった。「大変、見ればわかるから直ぐにいらっしやい」と養母からの電話。何かにつけ「大変だ」との呼び出し、懐かしい限りである。

発掘されたナウマンソウは三体あり、現在八王子の倉庫に保管されている。地下5メートルほどのところ、頭と体とが揃って発掘されたのは貴重なこととある。二体は小型だが、肩高が1.9メートル、描かれた復元の絵が添えてある。すっきりした素描だ。

その後の鑑定や判定、またその行く末は記憶の隅に追いやられていた。ただ先日、中央区議会のかみや俊宏議員の視察に同行する機会があり「浜町標本」に半世紀ぶりに再会、実は大変貴重なものだと知った。実際に目の前にすると一挙に万の単位で時間が遡る。単位こそ違えども、幼い時の玩具を見るようで眼がしばついた。

浜町一帯は江戸期、細川藩や牧野藩が大川（隅田川）の河畔までを武家屋敷地としていた。由緒の人物といえは平賀源内とねずみ小僧次郎吉であろうか。下っては三木のり平や勝新太郎、朝丘雪路が拳がる。彼らは明治座の舞台をも賑わした。ナウマンソウの「浜町標本」の表現を借りれば、さしずめ「浜町俳優」である。

コラム



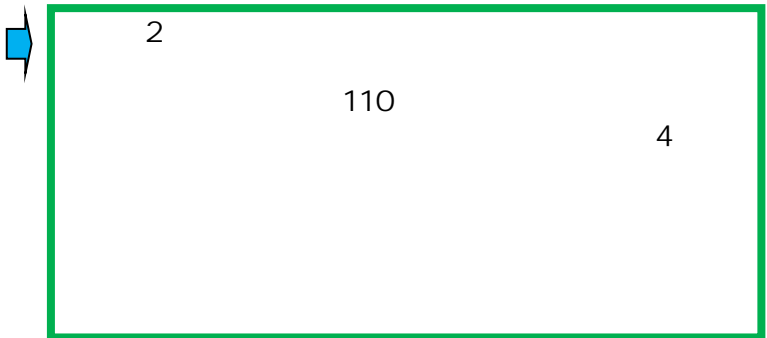
8 1



8 5



8 8 27



5



23 28





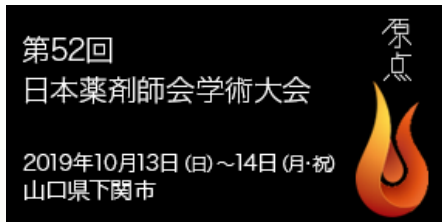
藤井もとゆき国会日記 その2

令和元年10月4日(金)
第200回臨時国会が召集されました。

10時より本会議、座席の指定、常任委員長の選任、特別委員会の設置の採決が行われ、その後休憩に入りました。13時より天皇陛下をお迎えし開会式が行われました。15時より本会議が再開され、今臨時国会の会期を12月9日までの67日間とし、その後、安倍総理大臣による所信表明演説が行われました。

令和元年10月13日(日)
第52回日本薬剤師会学術大会が山口県下関市で開催されました。

日本薬剤師会学術大会は、記録的な大型台風が接近し、飛行機、JR新幹線等が運休するなか、全国から約9千人の薬剤師が下関に結集しました。小生もなんとか前日に下関までたどり着きました。本会のメインテーマを「原点」、サブテーマを「思い出せ、火を灯せ」としたのは、今年が主催者の山口県薬誕生130周年とも関係してのことでしょう。開会式直後の特別講演は地元宇部出身のノーベル賞受賞者・本庶祐先生の「獲得免疫の驚くべき幸運」受賞後地元での初講演だそうです。関係者のお力添えに感謝します。



令和元年10月22日(火)
天皇陛下即位礼正殿の儀に参列しました。

天皇陛下が即位を国内外に宣言される「即位礼正殿の儀」が皇居・宮殿「松の間」で行われました。13時5分から始まった式典は13時35分まで。その時刻に合わせ、まるで式典を祝うかのように朝からの雨は上がり、明るい日差しが差してきました。天皇陛下のお言葉「国民の幸せと世界平和を願う」と共に、令和の時代は自然環境もかくありたいものです。安倍総理大臣の祝辞「寿詞」の最後、万歳三唱に合わせ小生も唱和に加わりましたが、同時にあげられた「祝砲」の音は聞き取れませんでした。緊張していたためでしょうか。議員の一員として晴れの式典に加わらせていただきましたこと、誠に光栄に存じました。ありがとうございました。



令和元年11月6日(水)
「藤井もとゆき君と語る会」を開催させていただきました

今年も多くのご支援を頂いている皆様に来会いただき、本当にありがとうございました。会場はかつて使用し、参加者の皆さんから好評を博していた「東京會館」。改装となり、ちょっとモダンになりました。松本衆議院議員、渡嘉敷衆議院議員、本田参議院議員と自民党薬剤師議員のそろい踏み。司会は本田議員にお願いし、来賓代表の挨拶は岸田自民党政調会長にお願いしました。ご来場の皆さまのお声、来賓の皆さまの励ましの言葉を胸に、改めて議員活動への一層の注力をお約束いたします。



令和元年11月21日(木)
厚生労働委員会で薬機法改正法案について質問に立ちました。

14時より薬機法改正法案について質問に立ちました。医薬品医療機器の審査制度、ネット販売の規制について、研究開発先駆け審査制度の法制化、PMDA(医薬品医療機器総合機構)の状況、新薬の海外展開特にアジア地区の展開について、薬剤師の資質向上、機能性薬局、薬剤師の需給状況について、麻薬取締官の権限などについて質問を行いました。

師走を迎え振り返ると今年も平凡な毎日だった。ただ、一風変わった行動もとった。東京と生まれ故郷の広島間を一般道でひたすら走り、また時に迂回して、往復 2000 キロ、6泊7日のマイカー一人旅。春間近の2月下旬、時間とルートに制約のない(が、小遣いと体力は細った)この年頃になってのささやかな挑戦である。

ルートは基本的には東海道、山陽道だが、甲州街道、山陰道など遠回りもして、なるべく多くの風景や人に接した。記憶を手繰ると、まずは甲州街道20号線の諏訪を南下し、約80キロの飯田線、水窪(みさくぼ) 駅。私の心の聖地である。サラリーマン当時、出張で飯田線を利用したことがあった。仕事のストレスで落ち込んでいたその時、トンネルから突然視界が開け、ほどなく着いたのがこの駅。車窓からの眺めに、モヤモヤがほどけていった。険しい山腹の駅舎とそのはるか眼下の水窪川。川の向こうには昭和初期の田園風景が広がる。今回も最初の立ち寄りにこの地を選び、人生のアカを洗い遙か広島までの安全を祈った。

その後、豊橋経由で東海道に入り、京都で吉本新喜劇。本場は、「なんば花月」だがここ「祇園花月」もかわらず人気。東京では時にテレビ観劇も、やはりナマには適わない。そして福知山泊を経て、鳥取から日本海沿い山陰道9号線に入る。大学同窓の故郷、倉吉と米子では駅周辺を巡り彼らの若き日を思った。そのまま、西進し、やがて島根県は出雲。出雲大社は明日にして、今夜は一人酒。意を鼓して繁華街の小体な居酒屋に入った。カウンター中ほどの1席が空いていたので、おすおす腰を下ろす。右にトラック運転手さんが二人。全国を駆け回って近くに来ると決まってこの店で日本海の魚を味わうと言う。飲んでいた熱燗を無骨な手で勧めてくれた。私の左手には、上品な母と息子さん。何でも島根大医学部の受験にささやかな激励会の由。親孝行で賢そうな息子さんだった。今頃は白衣で実験、実習の毎日だろう。翌朝の大社参拝を経て、一路広島へ。墓参りの後、郊外の小さなホテルに。主人の勧めで近くのバーに入った。カウンター越しの若い店主は大阪の一流ホテルからのリターン組。ワインをつまみに彼との会話を楽しんだ。

翌日、開幕初戦のJリーグサンフレッチェ広島の試合を観戦してようやく帰途に。計算すると一般道を一日300キロ。時速30キロとして約10時間。時に駅前駐車場泊も。さすがに疲れ果てたが、また、来年も同じ苦行に出かけるつもりでいる。

「藤井もとゆき君と語る会」開催 !!

日時：令和元年11月6日(水)
18:30~20:00

場所：東京會館 SAKURA
令和元年11月6日 新装なった東京會館 SAKURAの間にて「藤井もとゆき君と語る会」が開催されました。

全国各地より多くの支援者の方々のご参加を頂き、参議院議員本田あき子様のご司会により、日本薬剤師連盟会長山本信夫様の開会ご挨拶に続き、各界来賓の方々より励ましのお言葉をいただきました。その後、乾杯のご発声を衆議院議員とかしきなおみ様より頂き懇談に移りました。

皆様のご支援を糧に、今後とも一層精進して参りますこととお誓い申し上げます。



もとゆき会入会の案内

もとゆき会とは、藤井基之先生の政治家としての大成を期するため活動している政治資金規正法に基づく政治団体です。藤井基之先生の政治理念や人柄などに共鳴した人々の「藤井もとゆきファンクラブ」のようなものです。「藤井もとゆき勝手連」とも通称しています。会員になりたい方、関心のある方は、下記の藤井基之事務所にお問い合わせください。

入会金や会費はありませんが、個々の事業や活動の実施に必要な場合は、その都度、費用を会員や参加者から徴収させていただきます。

もとゆき会の活動をご理解いただくために、ホームページを開設いたしておりますので、右記アドレスにアクセスしてみてください。



藤井基之国会事務所

〒100-8962
東京都千代田区永田町 2-1-1
参議院議員会館 1218号室
☎ 03-6550-1218
Fax 03-3597-9393

藤井基之浜町事務所

〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町 2-35-7
島鶴ビル 601号
☎ 03-3660-4302
Fax 03-3660-4328

もとゆき会 HP :
<http://www.fujii.tv/>

